

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北リモートワークタウン推進事業			事業番号	016-007
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	スマートシティ担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造
			有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	SENBOKU New Design（旧泉北ニュータウン再生指針）、堺スマートシティ戦略					
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検年度	令和 5 年度			
4	実施根拠（根拠法令、条例等）						
事業の概要							
5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	本市内外の民間事業者や市民等（南区生産年齢人口約7万人）	対象数	70,000	単位	人	
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	職住一体・近接のライフスタイル（身近な場所で働ける環境）の環境整備を進めることにより、時間的なゆとりが生まれ、子育てや家族団らんなどの余暇を楽しむ人が増加することを目的とする。					
8	事業内容（目的を達成するための手段）	職住一体・近接のライフスタイルに資するリモートワークタウンの形成を推進するため、泉北ニュータウン地域でリモートワーク拠点を整備する民間事業者等を支援する。 * 事業者への拠点整備のための補助の実施					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間事業者					
10	公民連携・協働事業	公民連携事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
11 泉北ニュータウン地域におけるリモートワーク拠点（市補助対象）の年間延べ利用者数	人	目標値	-	-	200	300
		実績値	-	-		
		達成率	-	-		
		当該指標を選定した理由	職住一体・近接のライフスタイルを提供し、泉北ニュータウン地域の居住魅力を高めることをめざす			
		目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度補助事業により令和4年度から補助対象先の営業が開始される			
12 泉北ニュータウン地域におけるリモートワーク拠点（市補助対象）の整備箇所数	か所	目標値	-	2	3	
		実績値	-	3		
		達成率	-	150%		
		当該指標を選定した理由	利用者の増加を図るためには利用者が気軽に使える施設数を増加させると考えるため			
		目標値の設定根拠・算出方法	本市が補助を実施するリモートワーク拠点の件数			

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	泉北リモートワークタウン推進事業	事業番号	016-007
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	10,000	7,189	5,000
13 財源内訳					
国支出金			5,000	3,594	2,500
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源			5,000	3,595	2,500
14 人件費 (b)	0	0	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	11,640	8,829	6,640

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R3	決算
16 事業費内訳	補助金	R4	予算	5,000	2,500	R4	予算		
		R3	決算			R3	決算		
	R4	予算			R4	予算			
	R3	決算			R3	決算			
	R4	予算			R4	予算			
	R3	決算			R3	決算			
	R4	予算			R4	予算			
	R3	決算			R3	決算			
R4	予算			R4	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
17 ① 年間延べ利用者数	人	-	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	-
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	リモートワーク拠点の整備費用に対し1/2補助を行うもの。また補助金のうち1/2が国費となっており、市の財政負担を軽減するものとなっている。令和3年度には3件の申請があり、7,189千円の補助に対し、25,127千円の民間投資があり、費用対効果は高いものと考えている。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	リモートワーク拠点の増加により、職住近接のライフスタイルなど泉北ニュータウンの魅力が高まり、仕事を持つ若年層を中心とした居住者の増加につながる。
----	--